

産業常任委員会の記録

(ふるさと創生課)

招 集 年 月 日	令和5年3月3日(金)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月15日(水) 午前11時00分
閉 会	同 上 午後 0時03分
出 席 委 員	安西 博文、山崎 匡、加藤 康幸、森岡 健治、赤松 紀幸、 山石 恭助、山田 寛二
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫 課長 井上 靖、課長補佐 石田 和弘、課長補佐 土居 孝二郎 係長 兵頭 美和
職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	議会事務局長 大谷 吉廣
付 議 事 件	1 議案第18号 令和5年度松野町一般会計予算について ◎歳入 (該当分) ◎歳出 5款 労働費 7款 商工費

安西委員長	<p>ただいまから、ふるさと創生課所管の付託案件の審査を行います。</p> <p>議案第18号「令和5年度松野町一般会計予算」歳入該当分、歳出5款 労働費、7款商工費、ふるさと創生課所管分の審査を行います。</p> <p>担当課長に説明を求めます。</p>
井上課長	<p>(業務計画について業務計画書により説明)</p> <p>議案第18号「令和5年度松野町一般会計予算」のうち、ふるさと創生課分について説明いたします。</p> <p>予算書の77ページをお開きください。まず、5款1項1目の労働諸費は、当面の実施事業はありませんが、科目存置として需用費1千円を計上しているものです。</p> <p>予算書87ページをお開きください。7款1項1目商工総務費は、16,726千円の予算額で、前年度比629千円の増額計上となっております。</p> <p>内訳は、職員の人件費のほか、消費者行政相談窓口の開設にかかる経費です。国の消費者行政の方針に沿って、国の資格を有する非常勤の相談員を鬼北町、愛南町と本町の3町で雇用しています。</p> <p>予算書88ページをお開きください。2目商工振興費は、23,387千円を計上しており、前年度比80,858千円の減額計上となっております。</p> <p>予算の内訳は、8節旅費、10節需用費に、ふるさとワーキングホリデーの旅費や印刷代等を計上しています。</p> <p>12節委託料には、森の国創業支援・物産振興キックオフ事業に委託料2,200千円を計上しています。</p> <p>18節負担金補助及び交付金につきましては、商工会補助金として、町内消費喚起キャンペーン事業分を含む9,800千円、中小企業の制度資金の利子補給補助金は2,000千円、30年度豪雨災害被害対策分の融資を受けた企業に対する継続的な支援として被災中小企業者等復旧資金融資利子補給補助金233千円、都市部の若者が働きながら田舎暮らしを体験する、ふるさとワーキングホリデー事業の補助金1,234千円、地域づくり調査研究・インターンシップ応</p>

援事業補助金に500千円を計上しています。

そして、新規事業として、店舗等リニューアル補助金として500千円を計上しています。

続いて、23節には、中小企業振興資金預託金6,000千円を計上しています。

次に、予算書89ページ、3目観光費は、予算額191,515千円で、前年度比64,381千円の増額計上となっております。

ここでは、地域おこし協力隊員3名分の予算が含まれており、1節報酬6,568千円、3節職員手当1,060千円、4節共済費1,207千円のほか、各節に必要経費を計上しています。

7節では賞品費として報償費60千円、8節は観光事業に要する旅費284千円、そのほか10節需用費では消耗品費や修繕料、飼料費など、7,789千円を計上しております。

11節役務費には広告料や浄化槽関係費用、建物災害共済費用3,854千円などの必要予算を計上しております。

次に予算書90ページ、12節委託料では、虹の森公園上流部の樹木監理委託料5,507千円、万年荘リニューアルに係る実施設計委託料6,000千円、養魚場の運営に係る淡水魚畜養委託料2,224千円、大門温泉配管滅菌委託料1,430千円、国立公園清掃活動委託料430千円などを計上しているほか、ぽっぽ温泉改修工事に係る工事監理委託料1,430千円、DMO設立支援委託料6,491千円などを計上しています。

施設の指定管理関係では、後ほど別冊資料にて説明いたします。

次に予算書91ページ、13節使用料及び賃借料3,641千円は、観光施設や看板の土地借上げ料のほか、地域おこし協力隊関係の家屋及び自動車借上料が主なものとなっております。

14節工事請負費については、森の国ぽっぽ温泉では、大規模改修工事費に63,360千円、循環ポンプ等改修工事費に2,688千円、源泉の坑内洗浄や揚水ポンプの取換工事に851千円、道の駅関係では、かごもり市場等防犯カメラ設置工事に1,000千円を計上

しております。

18節では、各種協議会負担金や事業補助金を計上しております。

その主な内訳は、旅南予協議会負担金が1,919千円、奥伊予街道七駅物語事業推進協議会会費150千円、予土県境地域連携実行委員会事業負担金500千円、夏のイベント滑床まつりの開催費補助金2,230千円、森の国戦国絵巻のまちづくりプロジェクト補助金2,000千円、地域資源を生かした観光振興事業を対象とした森の国観光交流促進プログラム事業補助金1,250千円、グリーンツーリズム事業の創業や環境整備を支援するグリーンツーリズムキックオフ補助金1,000千円、松野町及び四万十地域の地域資源を活かした松野四万十バイクレース開催補助金2,400千円などを計上しています。

以上で、歳出の説明を終わります。

次に、これまでの歳出予算に係る歳入の主なものについて説明いたします。

予算書20ページをお開きください。13款1項3目、観光使用料として735千円を計上しております。

予算書23ページをお開きください。5目商工費国庫補助金に、万年荘改築事業の補助金として、2,387千円を歳入計上しております。

予算書29ページをお開きください。16款3項3目、生産物売払収入1,800千円は、滑床養魚場の魚販売の収入です。

続きまして34ページをお開きください。21款1項1目、過疎対策事業債のうち、ハード事業分では、森の国ぽっぽ温泉改修事業に68,300千円、万年荘改築事業に3,600千円、観光PR、交流促進事業に12,400千円などの各種事業の財源を充当しております。

以上で予算書の説明を終わります。

続いて、お配りしております資料にて事業ごとの概要説明をいたします。

<p>安西委員長 山崎委員</p>	<p>～ 別紙資料に基づき説明 ～</p> <p>以上でふるさと創生課分の説明を終わります。</p> <p>よろしくご審議を賜り、承認いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>担当課長の説明が終わりました。委員からの質問を許します。</p> <p>私から3点ほど質問させていただいたと思います。</p> <p>まず1点、万年荘のことなんですけど、老朽化、まさに著しく、かなり傷みがひどいような状態っていうのは私も拝見してるんですけども、建て替えの条件として、今回、設計とかそういう部分が含まれてると思うんですけど、来年度以降のことについて、予算とかそういう措置とかの枠組みとかそういうのが、もう何とか確保できそうな内容になっているのかどうか、進行状況が1つお聞きしたいのと、後、万年荘の機能ですよね、今持っている機能、ほぼ同じような機能だけなのか、新たにこういう取組みをするような機能を付加させるのか、その辺も含めてお聞きしたいのと、もう1つ商工会のことなんですけど、消費キャンペーンとか、私も携わってもらって大いに成果が出たと思います。コロナ禍で消費が低迷してる時に、消費喚起という、役割を大いに果たしてくれたのかなと思っております。</p> <p>今年度1回の、そういうことの予算も計上されているのか、年2回やってたと思うんですけども、その辺のお考えをお聞きしたいのと後、ぽっぼ温泉、大規模改修工事ということでボイラーの事故等もありまして、なかなか薪ボイラーが機能してないということがあるんですけども、私もまきステーションのほうの運営に携わっている一員として、まきステーションっていうもの自体の本来は、やっぱ、ぽっぼ温泉の薪ボイラー化に合わせて作った組織でして、やはり、休業または薪ボイラーの使用ができないという状態が続きますと、まさに、まきステーションの収益に直に関わってくる内容でして、本来、ぽっぼのために作った組織がそういうことを果たせない、温泉の休業によって果たせないという状況がやっぱり続くんで、要望とすればもう、</p>
-----------------------	---

井 上 課 長

できるだけ早く改修工事を終わらせていって日常業務に、早く薪ボイラーも含めて戻していただきたいと、その点の道筋というか、タイムスケジュール的なものもお聞かせしていただけたらと思います。

まず、万年荘の改築事業なんですが、まず改築という方向にかじを切らせていただきました。

今の施設のリノベーションといいますか、建物をそのまま残しながら、悪いとこ直していくっていうのは、技術的に無理だということの結果を得ております。

したがって1回壊して、それで建て直すという方向を選択しております。

ただ、立て直すにしても、65年の歴史、滑床の観光開発の歴史とともに万年荘っていうことですから、今の形、見え方とか意匠とか、屋根の方向とか、そういったものは十分に、今の万年荘を意識しながら、整備をして参りたいと考えているところです。

この事業に係る財源確保なんですが、令和4年度の議会においても、多数の議員さんからの心配と、そして頑張れという叱咤激励をいただいて、町長以下、様々な方のお力添えをいただいて、環境省への陳情であるとか、要望活動、そして愛媛県の自然環境施設の計画の搭載そういったところ、実現をさせていただいているところです。

見通しとしましては、自然公園関係の交付金の財源確保、今のところ、見通しを立てているといえますか、この事業に実施するに踏み切るだけの材料を今、いただいているところでございます。

実際に令和5年度においても、実施設計費の600万円のうち、補助率に照らし合わせた、手出し合わせて計算した額の国庫交付金ですね、こちらを確保しているところでございます。

そして、実際にリニューアルした万年荘の機能についてでございますが、当然、これまでどおりの休憩をできるスペース、そして軽食等がいただけるスペースと調理場、そういったものは確保してまいりたいと思います。

あわせて、せっかく人が集う施設でございますから、滑床溪谷をはじめとする自然、そして溪谷美、そして滑床っていうのは、林業とか、森林生業においても、非常に特筆すべき価値がございます。

そういった生業の部分、そしてもう一つ面白いところでは、産業遺産がたくさん残っております。

産業遺功ですね、水力発電所の後であるとか、炭窯の跡であるとか、氷室の跡であるとか、そういった滑床の魅力を展示するような、スペースもしっかりと確保して、滑床を訪れていただいた方が、この森にあそびこの森に学びて雨土の心に近づかんということをしかりと理解していただくというような施設にしていきたいと思っております。

続いて、商工会の運営補助といたしますか支援についてでございますが、現在、キャンペーン1回分の予算を計上しております。

キャンペーンの開始時期等につきましては、また、商工会のほうでしっかりと議論を重ねていただきまして、効果が上がる時期を見計らっていただければ幸いに存じます。

町としまして、さらに中小企業振興、商工会の振興、商店の振興を取り組んでまいりたいと思っておりますので、有利な財源確保でき次第、また、新たな支援事業等を計画してまいりたいと思っておりますので、そういった時期が来ましたら、再度、議会の皆様に御相談をさせていただきます、施策が実施できるような体制を整えてまいりたいと思っております。

当初予算としましては、現在キャンペーン1回分予定しておりますので、よろしくお願いたします。

3つ目に、ぽっぽ温泉でございます。

大変御心配をかけていることが幾つかございます。

薪ボイラーの排煙除去、排煙とかを除去する装置、間もなく稼働いたします。

今、施設整備が終わりまして、試運転中でございます。

<p>山崎委員</p>	<p>でき次第、また、薪による熱源の確保してまいりたいと思います。</p> <p>さらには、同じ過ちを起こさないように、排煙、煙突の掃除の仕方、そして掃除する箇所、そういったものをしっかりとマニュアル化しまして、同じ過ちを起こさないように努めて参りたいと思いますので、御承知をいただいたらと思います。</p>
<p>井上課長</p>	<p>リニューアルの期間のことについてお聞きしとったんですが、そのことについて、タイムスケジュール的なものが分かるのであれば、答えられる範囲で答えていただいたらと思います。</p> <p>こちらにつきましては、工事を施工していただく事業者様が決定次第、調整、協議を重ねて参るわけなんですけど、今のところ私どもの考えとしましては、なるべく利用されるお客様に、利便を損なわないよう、全面こう休館といいますか、する期間をなるべく短くできるような方法とか、あるいは明治の湯と、両方いっぺんに休むのではなく、片方が営業できないかとか、そういったことは考えて参りたいと思っております。</p>
<p>山田委員</p>	<p>したがいまして、工事施工業者の方が決まり次第、そのあたりしっかりと協議をしていきたいと思っておりますので、現在のところ、休業期間等は、まだ、未定でございます。</p> <p>観光のこと全般についてなんですけども、観光施設というのは松野町結構、滑床とかいろいろ、たくさんあるんですけども、ここ何年かは、コロナの関係で、観光客も減ってるし、収益も当然減ってるんですけども、やっとコロナが落ちついて、アフターコロナというか、そういう時期に来てるんで、そういった意味でもいろんな施策を、今、説明いただいたんですが、特にDMO、稼ぐ力ですかね、これは全般に言えることだと思いますんで、そこら辺でいろんな施設において、どうしたら、観光客が増えるのか、また、利益を出せるのかいうことを、いろんな立場から知恵を出し合ってますね、是非、観光で何とか松野町が盛り上がるように、取り組んでいただいたらいいかなと思いますんで、是非、その点よろしくお願ひしたいと思います。</p>

井 上 課 長

現在、松野町には、町の観光施設であるとか、民間事業者様とかが、様々な施設の運営とか、体験プログラムの提供とかしていただいております。

それぞれ個別の事業者様がそれぞれ頑張ってください、今やっているところなんです、このDMO、観光まちづくりをする、組織を立ち上げるという考えは、いわゆる観光地づくりを目指しているわけじゃなくて、観光という手段をとおして、まちの課題を解決する、いわゆるまちの課題を解決するにはどうするかというと、お客様がたくさん来ていただいて、たくさん地域内で消費していただいて、お金を回す量を増やしていくってところだと思っています。

そこでこのDMOを何で設立するかというと、やはりそれぞれ皆さんが頑張っているのを一つどっか方向性を揃えていこうと、方向性をそろえていった上で、町のそれぞれの事業者様であるとか、体験プログラムとかが、磨きを上げていって、全体的な観光集客力を増やしていこうという考えでございます。

松野町というのはやっぱり地理的要件がすごく恵まれているなというところが1つあります。

恵まれているというのは、いわゆる大阪とか東京という都市圏からの移動距離っていうのはすごく長くて、日本でも有数の遠いところ、最果ての四国とよく言われたりするんですけど、逆にそれは逆手にとって、気合を入れて松野町に来てほしいなっていう、来ていただいた以上、長く滞在していただきたいなというところもございます。

そういうところではなくて、松野町、ちょうど宇和島市、鬼北町、四万十市、四万十町に全部、堺を接している町です。

ちょうどハブになるんじゃないか、いろいろ行くところの拠点になるんじゃないかなと思っています。

そこには、先ほど申しあげましたJR予土線が走っております。

その予土線沿いには、カヌーであるとか、おいしいものであるとか、キャニオニングであるとか、魚釣りであるとか、いろんな資源が、散

<p>山 田 委 員</p>	<p>らばってあります。</p> <p>こういったところをですね、予土線、そして沿線のアウトドアコンテンツというのをキーワードにして、このDMOのひとつの稼ぐ柱にしていきたいなというところも、実は考えにございます。</p> <p>いずれにせよ、この観光というのは、観光地づくりを目指すわけではなく、観光を切り口に、まちをよくしていこうという考えでDMOをつくってまいりたいと思いますので、よろしく御理解の上、今後とも、御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>言われたように確かにDMOが、直接観光地のあれを目指すということではないように聞いたんですけども、やはりせっかくすばらしい観光に滑床をはじめですね、たくさんありますので、生かし切れないというたら語弊はあるんですけども、なかなかいろんな手を打ちながらも、なかなかこうもうひとつ盛り上がってない部分が、コロナいうのももちろんあるんですけども、やはりこれからは、観光をせっかくの資源がたくさんありますので、やっぱ観光を目玉に、やっぱいろんな人が来ていただく、来ていただいたらやっぱそれだけ松野町にもお金が落ちますので、そういったことで、みんなが知恵を出してですね、そういった活性化につながるように、我々も、一緒に考えたいと思いますので、是非そちらの方向で、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>山 石 委 員</p>	<p>今のDMOについての話なんですが、松野町はすばらしい自然、美しい自然がたくさんあります。</p> <p>また、万年荘もアウトドアセンターとしてリニューアルされるということなんですが、そこで今、全国的に、何かこう有名な流行ってるという自然を歩く旅、全国で自然を楽しむために整備され長距離の歩道ロングトレイルの普及が進んでいると、近年の健康志向に伴い、幅広い年齢層で森林や原野を歩く旅が人気になっているということです。</p> <p>そのうち、普及促進を協会に加盟するルートは29あり、うち石鎚山系など8つが整備計画中ということです。</p>

井 上 課 長

人気になれば、公益に経済効果をもたらすとの期待もあるということですので、是非、こういうのも考えてもらいたいと思います。

提案します。

山石委員さんの御提案、非常にありがとうございます。

滑床といいますか松野町全体、重要文化的景観が奥内にあったり、広見川目黒川を中心にすばらしい田園風景が広がっていたり、非常に自然景観に恵まれているところでございます。

私どもも、令和の時代に生きる役場職員であるんですが、いろいろと観光のことを考えたり、自然を残していくことを考えたりするとき、やはり、あの昭和30年代残された、初代松野町長の言葉を常に頭から離れないように考えてやっております。

ちょうど役場のロビーにも置いてるんですがこの森にあそびこの森は、学びと、再々、言葉に出すんですが、こちらの言葉を頭の中に入れながらしっかりと保護と、開発のバランスをとって、観光のいろいろな資源を磨いていきたいと思っております。

ロングトレイル、すばらしく滑床もいいフィールドであると思います。

かつては、たくさん登山客ブームの頃、昭和のアウトドアブームの時はいらっしゃったと思います。

今、少しずつ形を変えながらも、滑床溪谷の山や溪谷をめぐったりする方が今増えておるのが事実です。

少し形わかりますが、トレイルランといまして、特に滑床溪谷で山を走る方が非常に増えております。

日本でも有数のスリーピークスランという大会が、間もなく春に開催されることになっておりまして、宇和島から、滑床に上って、鬼ヶ城をずっと越えて、三本杭を越えて、滑床までおりてきて、また上っていくっていう、走るイベントです。

こういったものがあつたりとかですね、予算でも要求させていただいておりますマウンテンバイク。松野四万十バイクレースっていう、

日本でも、恐らく1番過酷であろうレースです。

こういった日本で1番苛酷なレースには、日本各地から、もうスペシャルな人が、特別な人がたくさん、専門のすばらしい人がたくさん来ます。

そういったことを、まず、大会としてフィールドアピールしながら、段階を上げていって、一般の方も、なじめるようなコースであるとか、そういう体験プログラムに育てていきたいと今考えているところです。

今後も体制整備とか、いろいろこれを商品化していくには、たくさんハードルがまだ待ち構えておりますので、こういったところも、整備しながら、やっていきたいと考えております。

また、今後とも、いろいろと御提案等、御指導をいただければ幸いに存じます。

赤 松 委 員

まずあの1点目でございますが、先ほども意見が出ておりましたので重複となりますが、森の国のぽっぽ温泉の大規模改修の事業で、今の時期、コロナも大分、下火になりまして、いよいよこれから活動という、この時期に、大規模改修事業が実施されるわけでございますが、当然、事業実施されますと、休業ということも避けられないと思っておりますが、今ほども答弁ありましたように、是非、休業期間を極力短くして、今からいよいよ本格的な活動に、PRに支障がないように、是非、気をつけて取り組んでいただけたらと思います。

次がタウンプライド醸成事業の件でございますが、本事業の背景や課題や事業イメージなどを見てもみますと、町民に町に対する誇りや愛着共感をもって、まちづくりに取り組んでいくため、気運づくりの事業と私は、捉えたわけでございますが、この趣旨からいうと、これはあくまでも私の意見ですが、観光費に組まれるのは、これはあくまでも手段として捉えればそうかもしれません、その内容を目的等を考えますと、ふるさと創生課のもう一つの目的であります企画分野ですね。やはり、企画的に、分野に捉えられて、この事業を展開されては、

<p>井 上 課 長</p>	<p>いかがかと、これは私の意見でございますが、ちょっとそこら辺の考え方をお聞かせ願いたいと思います。</p> <p>まず1点目、ぽっぽ温泉なんですけど、今回、外壁とか屋根とかが非常にウエートを重く占めております。</p> <p>ただ、利用者のお客様にとっても、利便が上がる、より楽しくお風呂に入ってもらえるっていう点では、サウナの改修っていうのを一つの目玉に考えております。</p> <p>明治の湯のほうのサウナ大きくしていきたいと思っております。</p> <p>そういったところを踏まえながら、先ほども申し上げましたが、事業を施工する事業者様、設計監理をしていただく事業者様で、指定管理の事業者様と、しっかりと協議を重ねて、なるべく休業期間、短くしてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>タウンプライド事業、こちらまさにこの予算を組む際、これ実は企画だなんていう話も実はあったんですが、このタウンプライド事業、1年や2年の一朝一夕では、うまくいくような事業じゃないと思っております、当然思ってます。</p> <p>これから段階を踏んで、この理念とか、そういった部分を培っていくわけなんですけど、今年度におきましては、まず、この松野町の進むべき理念っていうのをですね、まずは庁舎内、役場の職員の中で、しっかりと固めていって、各種施策にそれを理念をもとに、打てるようなところをまずやっていきたいと思っております。</p> <p>まずは庁内役場の中で、行政の中で固めていきたいなと思っております。</p> <p>そして、PR素材の政策であるとか、PRパンフレット、こういったパンフレットも、従来の個々の施設の電話番号と、こういった施設かっていうもんじゃなくて、しっかりと読みごたえのある人や物やことや、そういったものを捉えたパンフレットを作って。</p> <p>今年、第1段階として取り組む予算を伴うところで、PR資材の政策であるとか、PRパンフの制作、観光費で予算を計上するものだと</p>
----------------	--

	<p>いうところで今年は、観光費で組ませていただきました。</p> <p>今後、先の総務常任委員会でも、御説明させていただきましたとおり、各地区ごとにワークショップを開催していくという計画をもっております。</p> <p>そのあたりとも今後は、合体していけたらいいなというところで、どんどんこういう意識とか、考えを広めていきたいと思っております。</p> <p>その際にはまた、形を変えた予算化とかそういったところも、生まれてくるんじゃないかなと思っておりますので、御理解のほうよろしくお願いいたします。</p>
赤 松 委 員	<p>今説明聞いて、ある程度わかったんですが、やはり観光という位置づけにすると、どうしてもその一分野というような町民の方々見れば、一分野というような捉え方をされると思うんです。</p> <p>ですから、やはり、これ全庁挙げて、理念といいますか考え方は、大変、今後松野町にとって必要なことと思われまますので、是非、今の町のほうにもまちづくり委員会と言ってまちづくりを協議していただく機関がございます。そういうところにも十分協議をされて、今、課長も言われたようなことで今後検討をしていただいたと思います。</p>
安 西 委 員 長	<p>他にありませんか。</p> <p>質問が無いようであれば、採決に移ります。</p> <p>ただいま審査しております、議案第18号について、原案のとおり御承認いただけますか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
安 西 委 員 長	<p>賛成全員です。</p> <p>したがって、当委員会は、議案第18号「令和5年度松野町一般会計予算」歳入該当分、歳出5款労働費、7款商工費、ふるさと創生課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。</p>

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年4月27日

松野町議会産業常任委員会委員長 安西 博文